

# 防災だより



社会福祉法人  
八重瀬町社会福祉協議会  
八重瀬町字東風平1318-1  
電話：998-4000  
ファクス：998-8999  
社協HP  
<http://www.yaeseshakyo.com/index.html>

～ 地域福祉等推進特別支援事業 ～ 平成20年度 創刊号

## 災害に強い八重瀬町を目指して！

この度、八重瀬町社会福祉協議会では地域福祉等推進特別支援事業の一環として、「防災だより」を年6回ほど発行することとしました。

この防災だよりを通じて、防災訓練や各地域の防災活動、取組状況その他お知らせしたいことなど、八重瀬町内の様々な動きをお伝えし、皆さんとともに災害に強いまちづくりを進めていきたいと考えています。

防災で大切なことは、普段からの情報の共有と連携です。この防災だよりが行政と住民、また住民同士の橋渡しの一助となれば幸いです。



## 防災訓練を開催しました。



去る3月26日（木）午後2時より地域福祉等推進特別事業の一環として、港川老人クラブ及び字港川に住むお年寄りを対象に、防災訓練を実施しました。

当日は、港川老人クラブ及び字港川に住むお年寄り18名、港川区長、書記さんと多くの参加があり島尻消防清掃組合から当銘さん、新里さんのお二人にご協力いただきました。

訓練では、公民館の調理室から出火したのを想定し、避難の仕方を学びました。

その後、島尻消防署員より消火器の使い方の指導を受け、実際に消火活動を行いました。

訓練に参加した方々から「日頃、経験の出来ないことなどで経験できて良かった」「2年に1回ぐらいで良いので、訓練したい」「自宅にある消火器に消費期限はあるのか？」などたくさんのご意見や要望、質問などがありました。

～ その中から1つ ～

Q. 「消火器に消費期限はあるのか？」

A. はい。あります。ほとんどの消火器は7～8年が交換の時期だと言われています。定期的な検査も必要です。



## 平成20年度 地域福祉等推進特別支援事業実績について

### ～字港川津波想定避難訓練に関する住民説明会～



#### 目的

本会は、地震が発生した際、津波被害が予測されている港川地区を対象に地域住民が災害時要援護者と共にたすけあい、迅速に避難できる体制づくりを目指し、津波避難訓練を計画しています。今回、訓練を実施する前に地域住民への周知と津波災害に対する危機意識、防災意識の向上を図り、「住民主体の訓練」を目指す目的として説明会を開催しました。

#### 日時

平成20年4月17日(木) 午後1時～

#### 対象者

港川ミニデイサービス利用者 20名

#### 内容

##### ①ビデオ上映

「インド洋大津波～映像で迫るその全貌～」(約30分)

##### ②講演

「地震だ！津波だ！すぐ避難」

講師：金城 正勝氏（市民防災アドバイザー）

## ～平成20年度 防災に関する研修会～

#### 目的

本会では、津波・高潮で浸水被害が予測されている港川をモデル地区として津波避難訓練を計画しています。

そこで港川子ども会を対象に防災への知識を習得し、危機管理意識を高め、訓練への心構えをしてもらう目的に研修会を開催しました。

#### 日時

平成20年8月14日(木) 午前9時30分～

#### 対象者

港川子ども会、その他関係者

#### 内容

##### ①沖縄市防災研修センターにて研修

##### ②ビデオ上映

「インド洋大津波～映像で迫るその全貌～」(約30分)

##### ③講演

「津波とその避難について」

講師：金城 正勝氏（市民防災アドバイザー）



# 字港川における地震と津波に関するアンケート調査・報告

## ～地域福祉等推進特別支援事業～

### 目的

近年、地震・津波による被害が多々報告されていますが、ここ沖縄県でも体を感じない揺れを含め年間7000回もの地震が発生しています。

沖縄県が行った津波・高潮被害想定調査では今後、沖縄本島近郊で地震が起こった場合の被害予測を行いました。

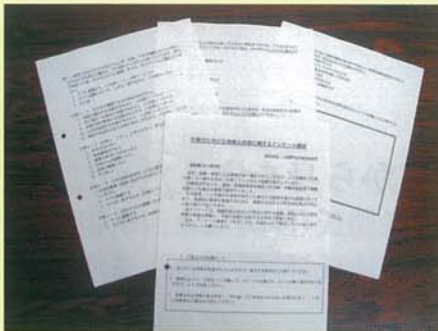
その結果、ここ字港川も津波が発生した場合には被害を受ける地域となっており、災害時の被害を軽減するために、地域のみなさんの防災対応能力の向上に取り組んでまいります。

本アンケートは、地域住民みなさんの防災に対する認識、家庭内における防災対策の実態を把握し、今後の活動に反映させる目的で本事業を実施しました。

**対象者** 字港川に住む20歳代～70歳代までの男女

**調査期間** 平成20年11月1日（土）～平成20年11月28日（金）

**結果** 依頼数・・・102部      回収・・・72部      回収率・・・67%



アンケート調査表



集計結果報告書

### 調査時の要望・意見

- 20歳代・男性：常に各家庭へ情報提供や情報収集の明確化を望みます。又、避難場所の提示や分かりやすいように伝えてほしい。
- 30歳代・女性：子供が保育園や学校に行っている時に起こったら、どのように安否確認が出来るのか知りたい。
- 30歳代・男性：被害にあった事がないので、被害にあった方の意見を聞いてみたい。
- 40歳代・女性：一人暮らし世帯や老人世帯を町や区が把握しておく。更に、緊急時には近所の住民がそれらの方々に何をすべきか又は、避難の際のマニュアルを作成し、平時から意識を高めておく必要がある。
- 40歳代・女性：避難場所への細かい案内板の設置や地域住民での防災訓練の実施。
- 50歳代・男性：災害時、避難の際に障害者、高齢者の方々の避難を速やかに行える様、行政と地域が連携して行なえる様、皆で助け合えるマニュアルを作った方が良いと思う。
- 50歳代・女性：地域の人々や部落の人がもっと災害についていろいろ知ってほしい。
- 60歳代・女性：避難場所や避難所がよく分からないので、広報活動よろしくをお願いします。
- 70歳代・女性：消防訓練、防災講演会、消火活動の実施

※もっと詳しく知りたい方や、報告書をご覧になりたい方は八重瀬町社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。

電話番号：098-998-4000（石川・山城）

## 平成20年度 高齢者見守りネットワーク事業

～みんなで考えよう地域防災と災害時の高齢者支援～

### 目的

災害の犠牲者の大半が65歳以上の高齢者となっている今、災害時要支援者について地域を基盤とした災害支援の重要性が求められています。災害発生時には、行政や消防、警察などの救助にも限度があるため、近隣の住民同士の助け合いが大切です。

そこで、自分達が生活する地域を、日頃とは違った防災という観点から見つめ、災害時の近隣住民同士の見守り支援体制を推進し、災害にも強い地域づくりを目的に研修会を開催しました。

### 日時

平成21年3月6日（金） 午前10時～

### 対象者

区長、自治会長、民生委員児童委員、シルバーボランティア、町内新聞販売店、その他関係者

### 場所

八重瀬町具志頭改善センター 大ホール

### 内容



#### ①講演会

「自然災害から身を守るためには」

講師：大城 栄勝氏(沖縄気象台予報課 技術専門官)  
比屋定弘康氏(沖縄気象台業務課 広報係長)



#### ②社協説明

「高齢者見守りネットワークについて」  
災害時の要支援者（台帳登録者）について等…



#### ③講習会

「心肺蘇生法とAED講習会」

指導：真喜志 淳 氏(日本赤十字社沖縄県支部)  
事業推進課 事業推進係長(救急法指導員)

※当日は72名参加でした。ご協力ありがとうございました。